

初めに

この報告書を読まれて質問や意見(こういう事を書いてほしい)、メッセージ等がある方は
darenimoiimasenny@gmail.com
に是非メールを送って欲しいです。

※ こちらの授業に関する質問などは谷口さん(2011年度留学生)や坂上さん(2010年度留学生)の報告書を参考にして頂けると幸いです。皆さん素晴らしくまとめて下さっているのでとても参考になりました。

I-20. パスポート。ホームレス。車上荒らし。

今月は私が留学中に起こったトラブルについて書こうと思う。私は留学生の中で一番と言っても過言ではないくらいトラブルが起こっている。まずは I-20 である。結論から言いうと、私は I-20 を持ってこなかった。入学時に、パスポートと I-20 の提出でこちらの学生証をもらう形になっており、私は持っていなかった。その事を担当の方に言うと、周りがざわつきはじめた。なぜなら、パスポート・ビザと I-20 は入国時に三位一体となる重要書類であるからだ。I-20 を忘れると最悪入国出来ず強制帰国させられる。それを私は日本に置いてきてしまった。すぐに留学生担当の Joshua さんの所に行きなさいと言われ、(Joshua さんは簡単に言うと留学生担当の偉い人である。) Joshua さんのところに行くと、

どうやってアメリカに侵入した?

と聞かれ『慣れない英語でスタディーアブロードと連呼しました。』という、『意味が分からない。どんなトリックを使ったんだ?とにかくキミはラッキーマンだ』と言われ、新しい I-20 を再発行してもらった。今でもこの事は Joshua さんに突っ込まれ笑い話にされている。

次に、私はパスポートが盗難に遭い、身分を証明するものが無くなってしまった。これは前代未聞の問題であり、パスポートの再発行について調べると、警察のレポートが必要と言う事がわかった。私は早急に友人へ警察署まで車で送ってもらうように頼み、ポリスレポートを書いてもらいにいった。だが、警察官は

どうせパスポートあげたのでしょ。

と言い、彼女は全く書いてくれなかった。私は凄く焦り、何を血迷ったか『私は日本人だ!』と思わず言ってしまった。言った瞬間に『何を言っているんだ...』と思ったが、彼女は

あなた日本人なのね。わかった。私はあなたを信じてあげる。

といい、彼女はレポートを書いてくれた。理由は察して欲しいが、日本というだけでこれだけだけの信用が得られたのである。ジャパンプランドはどれだけ素晴らしいものなのかを痛感した。私は日本人である事がとても誇らしく感じる事ができた。数日後、ポリスレポートを取りにいき、日本大使館に行かなければならなかった。日本大使館はニューヨークシティにありニューヨークシティまで飛行機で行こうとしたが、身分証明をするものがなかったため飛行機は使う事が出来なかつ

た。他の方法はと言うと、電車で9時間揺れるか、徒歩しかなかった。私は電車を選択し、日本大使館に行き、パスポートを再発行した。

後からわかった話したが、アメリカではID(身分証明書)を売る人がいる。それで暮らしている方も居り、日本では全く想像のできない事である。恐るべしアメリカ。

そして、ニューヨークシティから帰ってくると私の家は無くなっていた。

RITは学期終了ごとに寮を移動しないといけなく、私は変更申請していたのにも関わらず、学校側の問題で寮に入る事が出来なかった。私はホームレスになったのである。リアルに笑えなく、私は早急に寮の再申請をしたが、「寮は新生でいっぱいだし、どうする事も出来ない。」と言われ、私はJoshuaさんの所に行った。だが、私にはわからないからハウジングオフィスに行ってくれと言われた。(問題が起こった際、色んなところにたらい回しにされるのはアメリカあるあるである。)ハウジングオフィスに行き調べてもらおうと、「もうここしか空いてないからよろしく。」と言われホテルの住所を渡された。RITはホテルも持っており、一般の方や学生も住んでいる。ホテルの部屋は綺麗だが、私は車を持っていないため、毎日学校までバスで20分かけて行かなければならない。もちろん周りは何もなく、あるのはわけの分からない大きな牛の銅像だ。だが、そこに住まないと本当にホームレスになってしまい、アメリカでのホームレスは笑い事ではすまされない。悩んでも仕方が無いので前に進む事にした。

私はこのときとてもナーバスになっており、『次はどんな問題が起こるのか?』と心配をしていた矢先、車上荒らしの被害にあった。友人の車のサイドガラスは割られ、車内のカーナビが跡形もなく消えていた。アメリカではカーナビを盗む車上荒らしの被害が凄く多く、なぜそんなに多いのかと疑問に思っていたが、その理由がすぐにわかった。

日本ではこういった被害に遭うと、警察は指紋を採り、事情聴取などしっかり行うが、アメリカではそんな事はしない。アメリカのポリスマンはブラシを渡し

残念だったな、これで掃除しといて!その間にポリスレポート書いてやるから!

と言い、彼は手慣れた感じでブラシを渡し、パトカーの中へポリスレポートを書きに行った。私たちは渡されたブラシを受け取り、喋る事なく淡々と車内に散らばったガラスを綺麗にしていた。そのとき私は、現行犯か、とんだ鈍臭い奴だけしか捕まらないなと思った。そして帰宅後色々調べると、アメリカの人口は日本の約2.5倍であり、車上荒しごときは相手してられないのだという。全てがBIG級でビックリだ。

このように私はこの他以外にも、携帯が壊れたがそんなものはものともしなかった。それくらいたくさん事故の被害にあっており、事故慣れをしていた。だが、その問題もだんだんエスカレートしていたため、次にどんな問題が起こるのか考えるとゾツとし、考えるのをやめる事にした。もし、報告書の更新がなかったら察して欲しい。

やって欲しい事を初めに言う

色んな人に助けてもらってわかった事は、相談をする際、“何をして欲しいのか”を初めに言う事が重要だとわかった。日本のように、

こういう事が起こってこういう風になってしまっ..助けてくれませんか?

と言うと、こちらでは、結局何をしてほしいの?と言われる。なので、

これして欲しいんだ、なぜならこういうことが起こったからね!

と、初めにやって欲しい事を言ってあげる。そうすると、出来る事があれば全力でサポートしてくれる。一見凄く厚かましく聞こえるが、それぐらいわかりやすい方が良く、無理なら No とはっきり言ってくれる。本当に Yes か No がはっきりしている国である。

人に話す事が、問題を解決するための近道

留学中のお金や事故のトラブルが一番しんどい事だとわかった。慣れない土地で、どうすれば良いかわからない。こういった事に直面すると人間は一人で抱え込んでしまうが、一人で抱え込んでしまうと本当にゲームオーバーになってしまう。ストレスや悩みなど感じない私でさえも数日間暗い闇の中に入ってしまったくらいだからだ。だが、こちらの人は助けを求めると、助けてくれる方がたくさんいる。私の周りにも助けてくれる方がたくさん居たため、この負のスパイラルから抜け出すことが出来た。でも、助けを自分で求めないと誰も助けてくれないと言う事は知っておいて欲しい。なので、もしアメリカで問題が起こった際は、自分で周りの人に相談して欲しい。決して一人で悩む事は避けて欲しい。相談すれば必ず助けてくれます。

アメリカは怖い部分もあるが、良い所はたくさんあり、人に至っては、良い人はとことん良い人である。私の周りには”これでもか”と言うくらい良い人がいるため、私は本当にラッキーマンだなど思っている。来月はこの負のスパイラルで学んだ事をいかした活動についての報告をしようと思う。

以上で今月の報告を終わりたいと思います。

参考資料

谷口さんの報告書

http://www.kanazawa-it.ac.jp/international/report/2011_taniguchi_10.pdf

坂上さんの報告書

http://www.kitnet.jp/international/pdf/2010/10_10sakaue.pdf